

★ 私たちの身の回りには洗剤、化粧品、乾燥剤、殺虫剤、医薬品、農薬など使い方を誤れば中毒事故の原因となる物質がたくさんあります。ヨチヨチ歩きの子どもがたばこを食べたり高齢者が間違っって消毒薬などを飲んだりする事故も増えています。



### 中毒事故が起きたら

#### ★原因物質の確認

まず何を飲んだか、何を吸ったか、中毒の**原因物質を確認**します。  
周囲の状況や散らばっている瓶や空き箱などから確認しなければならないこともあります。  
また、残っている量から**飲んだ量を判断**することも重要なポイントです。

#### ★応急処置

##### ■飲み込んだときは

##### 1. 水や牛乳を飲ませます

**牛乳を飲ませてはいけないものもあります**

防虫剤、石油製品（灯油、ガソリン、シンナー、ベンジンなど）の場合。

##### 2. 喉の奥を刺激して吐かせます

**吐かせてはいけないときもあります**

意識がないとき、痙攣を起こしているときや、強酸・強アルカリ製品（トイレ用・パイプ用・換気扇用洗浄剤、漂白剤など）、石油製品を誤飲した場合。

##### ■ガスを吸入したときはきれいな空気のところへ移動させ、安静にさせます。

##### ■目に入ったときは流水でよく洗います（できれば15分以上）。

顔を横に向けてやかんから水をゆっくり流すか、水道の場合には強く水を出さず弱い流れの水で洗います。勢いの強い水で洗うと、かえって目に障害を起こすことがあります。

##### ■皮膚に付いたときは毒物の付いた着衣はすぐに脱がせ、石鹸を使って皮膚を十分に水で洗います。

##### ■意識がないときは吐いた物がのどにつまらないように、横向きの姿勢をとらせます。

#### ★医療機関へ受診する

**必ず飲んだもの（容器や説明書）を手に持って**、問い合わせあるいは受診します。  
既に症状がある場合はすぐに受診します。商品や毒性の情報などが必要な場合には**中毒110番**にご相談ください。**中毒110番**【(財)中毒情報センター提供】は**化学物質（タバコ、家庭用品など）、医薬品、動植物の毒**などによって起こる**急性中毒**について、**実際に事故が発生している場合に限定**し情報提供しています。

#### つくば中毒110番

電話 029-852-9999 (365日9時~21時対応)

#### 大阪中毒110番

電話 072-727-2499 (365日24時間対応)